就職委員会だより

いよいよ明年度に総合科学部の第1回卒業生を社会に送り出すことになり、本委員会はその責務の重大さを痛感しています。学生諸君の中にも就職を前にして種々の悩みと不安にかられている人が多いと思います。

そこで本委員会では,就職全般に関する情報を提供するため,この紙面を毎回借りることにしました。 皆さんの進路決定に役立てて下さい。

(1) 本委員会の51年度スケジュール

- ○学部PRと求人開拓 本学部は新設であることと名称のユニークさ(裏返えせば内容がわからない)のために、企業関係にほとんど知られていません。なにを目指し、どんな学生を育成しているかを大々的にPRする必要があります。それには教官個々による求人開拓の努力にまたなければなりませんが、本委員会としては、学部紹介冊子の作成・配布と、委員による会社訪問を精力的に実施する予定です。
- 。就職ガイダンスと進路希望調査 大学側が求 人開拓に努めるとしても、就職は所詮学生の能 力と努力によって決まります。就職準備は一般 に私立より国立、中央より地方の大学生が下手

といわれ、チャンスをみすみす逃している傾向 があります。企業・教職・公務員等によって、 その準備に違いがあるので、学内講師によるガ イダンスを計画しています。学生諸君はぜひ参 加して下さい。なお前期末に2回目の進路希望 調査を実施しますので、協力下さい。

- ・就職資料コーナーの設置 ——進路決定や就職試 験の準備に役立てるため、企業からの資料や就 職用雑誌などを備えたコーナーを設ける予定で す。場所は未定。ただし、資料は現在厚生補導 係にありますので、利用下さい。
- (2) 第1回進路希望調査の概要

4月に49生を対象に実施した調査を集計した結果は次の通りです。

 大学院
 27名

 企業
 39名

 教職
 56名

 公務員
 41名

 資格取得
 17名

 自営
 1名

 合計
 181名

(ただし、2つ以上の回答があり、実数は69名)

人事移動

≪採用≫

(教官の部)

舟場正富(社会文化研究 助教授) 3月1日付 深宮齋彦(自然環境研究 助手) 3月15日付 志村賢男(社会文化研究 教授) 4月1日付 中川正之(中国語 講師) 4月1日付 山崎俊雄(社会文化研究 教授) 4月3日付 芝田進午(社会文化研究 教授) 4月20日付 (事務職員の部) 柿原敏博 (自然環境研究) 1月19日付 空川 学(保健体育) 2月1日付 阿式淳一(基礎科学研究) 4月1日付 金本雅昭 (用度係) 4月1日付 古屋裕子 (自然環境研究) 4月1日付

河田礼子(情報行動基礎研究) 4月1日付

森田 啓子 (地域文化コース)
 4月1日付
 尾崎美枝子 (学務第二係)
 4月1日付
 水野 英子 (厚生補導係)
 4月1日付
 吉岡由紀子 (庶務係)
 6月1日付

(教官の部)

天野 実(情報行動基礎研究 教授)

国立がんセンター研究所生物学部細胞 生物研究室長より 3月1日付

研究所化学部土じょう第一科長より

西村 雅樹 (ドイツ語 講師) 愛媛大学教養部講師 より 4月1日付

鈴木 達彦(自然環境研究 教授)農林省農業技術

4月1日付

≪昇任≫ (教官の部)

神崎 義一(ドイツ語 教授)総合科学部助教授

より 3月1日付 西垣由美子(英語)図書館集書係より 鈴木 修次 (アジア研究 教授) 東京教育大学文学 部助教授より 4月1日付 安田 三郎(人間行動研究 教授)東京大学文学部 助教授より 4月1日付 中峯 照悦(社会文化研究 教授)総合科学部助教 大田 素子(環境科学コース)婚姻により改姓 4月1日付 授より 好村 滋洋(基礎科学研究 教授)総合科学部助教 《停年退官》 授より 4月1日付 沢田 和夫 (英語 教授) 総合科学部助教授より 4月1日付 小井手士陽男(ドイツ語 教授)総合科学部助教授よ 住吉 勇(ドイツ語 教授) 高本 友彦 (保健体育・教授) 総合科学部助教授よ 《辞職》 4月1日付 村瀬 延哉(フランス語 講師)京都大学文学部助 神崎 義一(ドイツ語 教授) 3月31日付 手より 4月1日付 (事務職員の部) 蓮池 寿夫 (人事係長) 人事課給与主任より 4月1日付 ≪配置換≫ (教官の部) 重松 明久(日本研究 教授)福井大学教育学部教 授より (事務職員の部) 山崎 信一(厚生補導係長)工学部厚生補導係 鳥羽 隆憲(用度係)東雲分校庶務係へ 長より 4月1日付 谷川 貴史 (庶務係) 医学部附属病院庶務係より 折出 信江 (用度係) 人事課給与第二係へ 4月1日付 中道 一博 (人事係) 管財課管財第一係より 4月1日付 松原 和子 (人事係) 人事課任用係より 4月1日付 茗加 瑞一(経理係)教務課総務係より 4月1日付 河井 孝之 (学務第二係) 東雲分校附属学校係より 4月1日付 河野 進(厚生補導係)医学部附属病院外来係よ 4月1日付 加世田貞子(地域文化コース)経理課用度係より 4月1日付 中出 治美(社会文化研究)医学部附属病院外来係

より

4月1日付 石田 啓子(保健体育)原医研庶務係より 4月1日付 ≪救好≫ (旧姓福田 5月17日届出) 森田 武(日本研究 教授) 4月1日付 三迫 初男 (アジア研究 教授) 4月1日付 中井 正文 (ドイツ語 教授) 4月1日付 4月1日付 4月1日付 林 道恵 (フランス語 教授) 4月1日付 (教官の部) (事務職員の部) 中富 正輝 (保健体育) 1月31日付 < 配置換 · 昇任≫ 松浦 和夫 (学務第二係長) 医学部附属病院職員係 4月1日付 福永 淳 (庶務主任) 企画調査課企画係長へ 4月1日付 木村 範彰(経理係)主計課監査係へ 4月1日付 4月1日付 村田 和雄(厚生補導係)学生課学生第二係へ 4月1日付

4月1日付

海外渡航者查易蒸营引擎引品旅程

大森 元吉 (社会文化研究 助教授)

渡航先 シンガポール, インドネシャ, タイ,

香港,台湾

目 的 東南アジア諸国住民の都市および地方

村落における生活実態の視察

期間 51.3.31~51.4.17

大林 康二 (基礎科学研究 助教授)

渡航先 アメリカ合衆国

目 的 総合科学的視野に立った光波物性の研

究

期間 51.4.26~52.4.19

陣崎 克博 (英米研究 教授)

渡航先 アメリカ合衆国

目 的 「現代ユダヤ系アメリカ人作家の小説

に見られる, ユダヤ系アメリカ人の同 化と疎外とアイデンテイの危機」の研

究

期間 51.4.27~52.1.19

今井日出夫 (自然環境研究 教授)

渡航先 ソヴィエト連邦共和国

目 的 学術研究 Japan-Soviet 電気化学

ゼミナー

期間 51.5.14~51.5.25

菊地 邦雄 (保健体育 助教授)

渡航先 アメリカ合衆国,カナダ

目 的 国際身体運動学会議

期 間 51.7.9~51.7.26

期間延長

江口 正晃 (基礎科学研究 助教授)

渡航先 アメリカ合衆国

目 的 リー群の調和解析の研究

期間 49.9.1~51.6.30 までのところ

51.8.31 まで



昭和51年度下記委員会委員

。コース・講座委員会										鈴	木	達	彦	坂	П		昇
(委員長)) 岡	本	哲	彦	井	Ł		īE.		北	村	靖	治	秀			敬
	深	深 萱		男	高崎禎夫		。学生生活										
	中	峯	照	悦	岡	本	雅	典	(委員長)	秀			敬	渡	辺	則	文
	小	林		惇	瀬	Ш	道	治		金	田		晋	伊	藤	護	也
	板	野	暢	之	沢	田	和	夫		板	野	暢	之	林		t	雄
	小	小井手		易男	高	木	友	彦		松	田	IE.	典	本	田	和	親
	佐人	久間	元	敬						Щ	本		雅	荒	井	貞	光
。学務委員会								((1)	谷	英	文)	(井	Ł	千	吉)	
(委員長)	委員長) 佐久間		元	敬	村	上		誠	(福	鳴	正	純)				- 2
	丸	山	孝	. —	甲	斐	祥	郎	。広報委員	会							
	重	中	義	信	松	尾		博	(委員長)								1
	桧	原	忠	幹	佐	田	公	好		坂			昇	大	石	俊	-
	岩	上	辰	男	小	野	和	人		上	田	由	文	田	所	佑	4:
	小	林	健	祐	調	枝	孝	治		根	平	邦	人	丹	辺	文	彦
	保	田	茂	欠郎	岩	村		聡		橋	本		功	北	村	靖	治
。就職委員会							学生「飛翔」編集委員										
(委員長)	藤	原	健	蔵	松	浦	道	-					6名				
	門	門		-	今	中	比呂志										
	大	森	元	吉	久	保	良	敏									
	兼	田	Œ.	男	大	内		侃									

記

*人生意気に感ず"と,友人の家で話しをしての 帰り、およそ12時頃だったかな、ひたすら下宿へと くまでごくろうさん、と言ってやろうかと思ったが 自転車で夜道をひたひた急いでいると、急に一人の 警官が出てきて、懐中電灯で照らし、職務質問され た。私めの人相がよろしくないのか、はたまた挙動 不信のチカンに見えたのか、とにかく、ぞろぞろと 四人のおまわりが私めの自転車の四方をぴたっとと り囲んで、「どこに行って来たんか」とか「職業は」 とかずいぶんこちらをチカン呼ばわりするので、不 愉快になり「感じ悪りいなあ」と言ってやると、「え っ, こっちは強制してるんじゃない, 任意でやっと るんだ, なんか都合悪いことでもあるのか」とくる。 聞くと、チカンの夜間取り締りにひっかかったらし

い(ここらは確かにチカンの名所なのだ)。夜分遅 「大学は」「広大」「学部は」「総合科学部」「へ -- , そうかそれじゃ就職たいへんじゃのを-, あ んたどうするん」とくるから「俺ァ就職せん、大学 院にでも行けたら行く」と言うと「そりゃたいへん じゃの一」と取ってつけたような感心の仕方をしや がったなあ。全くよりによって、俺のように人相の よい善良な青少年をチカンに見まちがえるおまわり たちの気がしれん。お上に弱く, 民衆に警察が強い のは世の常、しょうがねえなあと思ったが……それ にしてもあの四人のおまわりくん, よく, うちらの 現状知ってますなあ。 (N. I)